

1963年に撮影した80系国電車両

金子元昭

3月17日に行われた「鉄道映像をみる会」で私が1963年に撮影した旧形国電のモノクロ静止画を放映しましたが、その中から皆さんが一番身近に感じたと思われる首都圏で写した80系車両を再編集しました。



東海道本線の東京周辺の客車列車電車化用として製造されたこの80系車両は20m車で両車端にドアがあり、形態的には客車に準じていました。

撮影当時は東海道からは外れていましたが高崎線など上野発の列車用として活躍していました。

この写真は御徒町の京浜東北線ホームから撮影したか86108号車他の6両編成で形式は手前から「か86+モ80+モ80+サ87+モ80+か86」形です。



最初に登場した1949（昭和24）年度製の先頭車（か86形）の前面は半流形で3枚窓でした。（か86001～20号車。）

写真はか86013号車 新前橋電車区にて。



翌1950（昭和25）年度製からは前面2枚窓の湘南タイプと呼ばれるスタイルになりました。ただ、か86021～22号車の前面はそれ以降の車両と前面が微妙に異なっていました。か86022号車 御徒町駅ホームから。



か86形、湘南スタイルの標準タイプ。2枚窓の中心を角張らせてのが特徴です。

か86038号車1950（昭和25）年度製。御徒町駅ホームから。



1956～57（昭和31～32）年度に製造されたか86形100番台の車両は鋼板屋根になり窓もアルミサッシになりました。

か86108号車、1956（昭和31）年度製。御徒町駅ホームから。



1957（昭和32）年度以降に製造されたか86形300番台の車両は全金属製になりました。か86形は合わせて200両製造されました。か86310号車、1957（昭和32）年度製。新前橋電車区にて。



新前橋電車区構内風景

80系登場時は田町電車区に配属され、よく出掛けましたがその後所属が変わり、1963年にはこの電車区で中間車中心に二回撮影しました。



80系車両の中間車も製造時期により先頭車同様の変化が見られます。
この写真は㊦80040号車、1950（昭和25）年度製造の車両で初期の標準的なものです。これ以降3枚は新前橋電車区にて撮影の写真です。



これは㊦80235号車、1956（昭和31）年度製の車両です。
㊦80形車両は合計300両製造されました。



この車両はか87116号車、1957（昭和32）年度製造の車両です。
か87形車両は合計99両製造されました。



80系の二等車としてか85形が合計47両登場しましたが1963年時点
では同じ形式番号で横須賀線で活躍していました。

写真はか85024号車、1951（昭和26）年度製。大船電車区にて。

この他に80系としてモユ81形6両が製造されましたが1963年時は名
古屋地区に転出しており、ここでは省略しました。